

松島町教育委員議事録（令和3年7月定例会）

- 1 招 集 月 日 令和3年7月30日（金曜日）
- 2 招 集 場 所 松島町役場庁舎 302会議室
- 3 出 席 者 内海俊行教育長、瀬野尾千恵委員（教育長職務代理者）鈴木康夫委員、
安倍七恵委員、佐藤晴子委員
- 4 説明のため出席した者
赤間隆之教育次長、千葉忠弘教育課長、
大宮司綾学校教育班長、土井弘通生涯学習班長、石川中央公民館長、熊谷賢学校給食センター所長、
岸淳一学校教育班主査、
- 5 議 事 日 程
 1. 開会 令和3年7月30日（金曜日）午前10時00分 開会 （録音開始）
 2. 前回委員会の議事録の承認
 3. 議事録の署名委員の指名 瀬野尾委員・鈴木委員
 4. 報告事項
 - (1) 一般事務報告
 - (2) 教育長報告
 5. 協議事項
 - (1) 令和3年8月定例会について
日程案：令和3年8月27日（金）午前9時00分 松島町役場3階 301会議室
 7. その他
 8. 閉会

6 議 事 録

1. 開会 午前10時00分

〔岸主査〕 皆さん、おはようございます。（「おはようございます」の声あり）これから松島町教育委員会会議令和3年7月定例会を開会します。

開会の挨拶を内海教育長よりお願いします。

〔内海教育長〕 おはようございます。（「おはようございます」の声あり）夏休み前は、コロナにかからないでそれで夏休みに入ればいいなと思っていて、そのとおりににはなったんですが、今ここで話題になった殺人事件がありまして、子どもたちにとっても、親御さんにとっても、簡単に外に出られる状況ではなくなった中で夏休みに入ったんですが、警察のお力で犯人が逮捕され、通常の夏休みを迎えることができたのではないかなと思っております。夏休みに入って1週間ちょっと経ちますけれども、事故報告もなく、つつがなく子どもたち元気に暮らしているのではないかと考えております。

学校においては、千葉県八街市（やちまたし）でしたかね、事故がありましたので、それを踏まえて国から県通じて地教委にカードレールのない歩道とか標識が消えかかっているところ等の緊急の調査が来ました。これについては、事故があった2、3日中に校長会を開き、資料を準備しておくようにと話しておいたんですが、現場確認など何かと慌ただしい夏休みを先生方は迎えているのではないかなと思います。

今日もいろいろご意見いただきながら、これから2学期に向けての対応を考えていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。以上です。

〔岸主査〕 ありがとうございます。

2. 前回委員会の議事録の承認

〔岸主査〕 続きまして、2番、前回委員会の議事録の承認に移ります。

6月定例会、7月9日臨時会の議事録について、配布した資料のとおり承認ということでよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

ありがとうございます。

3. 議事録の署名委員の指名

〔岸主査〕 続きまして、3番、議事録署名委員の指名を行います。

今回は瀬野尾教育長職務代理者と鈴木委員を指名いたします。（「はい」の声あり）よろしくお願いいたします。

4. 報告事項

(1) 一般事務報告について

〔岸主査〕 続きまして、4番、報告事項に移ります。

(1) 一般事務報告について、学校教育班からお願いします。

〔大宮司班長〕 それでは、資料の1ページをお開き願います。学校教育班の行事報告から申し上げます。

主な行事を説明させていただきます。

7月14日ですけれども、令和4年度の入試制度保護者説明会が開催されました。こちらは、保護者、生徒、教員合わせて88名参加して、県の高校教育課から説明をさせていただいたところです。

さらに、20日ですけれども、無事1学期終業式を迎え、子どもたち、夏休みに入っております。教育長先生もお話されましたが、今のところ事故報告もなく過ごしているというところです。

続きまして、21日、夏休みに入りまして、教育委員会の主催ということで、こども英語ガイドのオリエンテーションを実施しました。12名全員参加して開講をしたところでございます。

22日ですが、県中学校総合体育大会、25日まで開催されました。この結果につきましては、本日、別資料の一覧で結果をお示しさせていただいておりますので、そちらをご覧ください。その中で、柔道男子個人で第2位になりまして、東北大会出場の切符を得たところでございます。8月4、5日に東北大会、今年は宮城県開催ということですので、仙台市の会場で東北大会に臨むということでございます。

以上、行事報告のほう、終わらせていただきます。

続きまして、資料の2ページ、行事予定になります。

先ほど報告で申し上げましたが、19日、子ども英語ガイド事業の閉校式を予定しております。子どもたちは動画完成に向けて頑張っているところでございますが、ここで完成した動画につきましては、20日以降に町のYouTube等々で、世界に向けて発信する予定としているところです。

8月20日ですけれども、町の教育講演会として音楽鑑賞会を今年は実施する予定としております。チラシのほうは事前に教育委員の先生方にもお渡ししておりますので、もしお時間可能でしたら、ぜひご参加いただければと思いますので、よろしくお願いたします。

そして、8月26日には長い夏休みも終わり、子どもたち始業式ということで、また2学期をスタートさせる予定でございます。

以上、行事予定です。よろしくお願いたします。

〔岸主査〕続きまして、学校給食センターお願いたします。

〔熊谷所長〕それでは3ページをご覧ください。

学校給食センターの行事報告をさせていただきます。

期間としましては、令和3年6月26日から7月30日までとなっております。

6月28日月曜日から7月13日火曜日まで、栄養士による学校訪問を幼稚園、小中学校を対象に行いました。内容としましては、給食時間の少し前の時間に学校を訪問しまして、給食配膳前の温度測定、配食の適正な量の確認、それから担当の先生等からの給食の状況等をお伺いいたしました。

また、7月1日木曜日、これまで延期をしておりました松島町学校給食センター運営審議会を文化観光交流館で開催いたしました。教育長より運営委員の方へ委嘱状を交付いたしました。10名中、1名が欠席で、9名参加で、その中で会長、副会長を選任いたしまして、その後運営方針や協議事項について会議を行いました。

最後になりますが、7月20日より夏季休業により給食を一旦終了としております。

続きまして、行事予定について報告いたします。

期間としましては、令和3年7月31日から8月27日までとなっております。

8月23日月曜日から給食を再開する予定となっております。

別添資料としまして8月の給食献立、給食だよりをつけておりますので、ご覧いただきたいと思ます。

以上となります。

〔岸主査〕それでは、学校教育班及び学校給食センターの報告について、ご質問ございますか。

(質疑)

瀬野尾委員

給食センターへの質問ですが、栄養士さんの学校訪問ですか。これは子どもへの指導のみならず、説明のように食事前の給食の調理したものの温度を測定したり、配膳の量が適正かというような、そういうことをされるんですね。

熊谷所長

一昨年までは給食の時間、指導ということで、給食の時間に栄養士が生徒の前でお話をされていたんですが、給食時の接触を避けるために食べる時間を避けるようにしまして、適切な量の判断とか、あと状況については担任の先生から聞き取りするような形で行っております。子供たちも友達ともしゃべらないで黙食を行っているの、その時々状況を確認しながら形態を変えながら行っていきたく思っております。

瀬野尾委員

追加してお尋ねします。今子どもによって食べる量の違って結構ありますよね。カロリー計算すると適正な量ってあるんですが、そのあたりの個人差は、特にこの1、2年生のあたりの子どもへの対応って今学校ではどのようにしているんですかね。

熊谷所長

給食の量は、幼稚園や小学校1年生とかは少なくはしているんですが、おかずとかをその学年ごとに変えるというのは、なかなかちょっと難しい部分があるので、多少残量が出るような形で配膳しています。あと、パンの量が一番難しいですね。種類が2、3種類作れないので。ご飯の分量は20グラムぐらいずつで切っはいるんですが、それでもちょっと多い子どもたちもいるようではあるんですが、それは幼稚園の先生や担当の先生で対応していただいて、無理しない程度で食べていただいています。牛乳も同じ量なので、幼稚園児が1本飲むのと中学生が1本飲むのではお腹の満たし方が違いますので。

鈴木委員

学校教育班の行事予定、8月26日始業式って、いや、授業再開って23日ですよ。今の給食が23日でした。

大宮司班長

中学校は23日です。

鈴木委員

そして、26月(木)と書いてあるけれども。

大宮司班長

資料26月は26日の誤りです。26日月曜日に、学校管理規則上の始業日が26日になります。

鈴木委員

26日に始業式で、幼稚園、小中学校ですね。

大宮司班長

ただ、中学校は、今暫定的に2期制採用しており、コロナ禍の理由で、23日に授業を再開することになります。

鈴木委員 23日に中学校が授業再開。

大宮司班長 中学校のみですね。ただ、暫定で今年限りという。去年と今年は23日です。

鈴木委員 そうすると、小学校、幼稚園は26日。（「そうです」の声あり）そうすると、給食は。

大宮司班長 給食は、中学生だけ23日から始まります。

安倍委員 給食センターで栄養士さんが訪問しているのですが、先日ニュースで、やはり宮城県がどうしても何か肥満傾向があると、数年前からそういうニュースは目にしていて、あのパーセンテージを見ると、ちょっと引っかかってしまっているの、給食センターが主になるのか分からないんですけども、そういう傾向で、松島自体はどうなのかというのと、今後家庭への働きかけというものはどういうふうに、ただこうですよと言うだけではなくて、どうするのかと。肥満もだけれども、逆に痩せ過ぎも見られるようだという逆のことも聞いたので、そういった面でどういうふうに取り合っていくのかということをお聞きしたいです。

熊谷所長 学校給食のカロリー計算というのは、国の学校給食摂取基準というのがありまして、そちらで基準の1日当たりのエネルギーやたんぱく質量などがありまして、先ほどの献立表の一番右手に栄養価として、月平均として小学生であれば655、中学生が844という基準を満たすような形で献立表を、栄養士が毎日献立表を作成しております。あと裏面にありますとおり、実際は給食ほうとあと朝昼なので、家庭での、毎日の摂取量が重要となってきますので、注意喚起や働きかけは随時献立の裏面で栄養士が行ってはいらるんですが、ちょっとその辺は個人差もあります。あと家庭までの働きかけとしましては、給食の担当者会議の中で話はしたいと思っておりますし、肥満改善していくというのは、運動なのか、食事なのかいろいろ要因があると思っておりますが各担当者で協議しながら対策を練っていきたく思っております。（「分かりました」の声あり）

佐藤委員 感想とお願いということで3点お話しさせていただきます。

1点目は、この県中総体の結果等を拝見させていただきました。それから、松中の学校だよりを拝見いたしますと、本当に生徒たち、子どもたち、頑張ったんだなという、その頑張りがすばらしいなという思いです。

あと、これに携わった指導者の方、先生方のご努力のおかげなんだろうなというふうなところで、ただ感動いたしましたし、こういったお便りでお知らせしていただくことで、やはり保護者の方、地域の皆様にもご理解いただけることにつながるというふうなことで、これからもぜひお願いしたいと思います。

それから、2点目、3点目は、ホームページを拝見して、それで感じたことをお話しいたします。

2点目、地域力がすばらしいというふうな思いがしております。このたび、先ほど教育長先生からもお話ありましたように、ああいった事件があったところで、やはり役場職員の皆様、それから見守り隊、地域の方、それから保護者の方、防犯指導隊の方と、子どもたちのためにしっかり見守っていただいたことが、安心まではこういう状況でなかなかいかなかったかとは思いますが、確実に子どもたちの安全というところで、守ることができたかなということで、これからもぜひこういった地域力を維持していただきますようお願いいたします。

3点目は、第1学期の終業式ということで、学校によってはリモートでの、各教室にてリモートでの終業式になっていたり、それから体育館に集めたんですけども、やはりソーシャルディスタンス取りながらというところは、非常に工夫いただいて、ご配慮いただいているなという思いがしております。ここに来て、また全国的に感染者の数が増えている状況でございますので、今後こういった基本的な3密を避けるということとか、それから手洗い、うがい、マスク、そして感染の防止のためにということで、いろいろ継続してご尽力いただければ幸いですので、どうぞよろしくお話しいたします。以上です。

〔岸主査〕ありがとうございます。それでは報告を続けさせていただきます。生涯学習班お話しします。

〔土井班長〕それでは生涯学習班の行事報告、それから予定についてご説明をさせていただきます。

初めに、行事報告のほうから説明をさせていただきます。

資料に記載のとおり、松島まるごと学としまして、各小学校で行われました出前授業を掲載させていただいているものが生涯学習班の報告事業となっております。

こちらにつきましては、主に瑞巖寺の学習であったり、縄文時代の学習であったり、あとは、森林学習の体験

を実施しております。前回の会議でもご説明させていただきましたが、瑞巖寺学習につきましては、内容が濃いものなので、最初に事前授業という形で、学校でまず勉強していただいて、それで現地に入っていただくというようなやり方をさせていただいているところがございます。

こちらのまるごと学の出前授業につきましては、発掘品などの実物を見せることもあり、子どもたちからも大変好評を得ております。

続いて、行事予定をご説明させていただきます。

8月中旬に松島まるごと学の推進委員会を開催予定しております。これまでの実施内容の確認並びに今後の取組について、こちらのほうで整理、再確認をしていく予定としております。

最後に、8月28日に二市三町土器づくり教室を実施する予定としております。こちらにつきましては、二市三町と書いておりますが、会場の都合もございまして、松島町と利府町を対象として手樽地域交流センターで土器の成形をする予定としております。ほかの市町村、多賀城、塩竈、七ヶ浜については、七ヶ浜の会場で成形づくりをする予定となっております。成形の部分に2ヶ所に分けて実施し、焼き上げのほうは、別途、日にちを設定して実施する予定となっております。以上でございます。

〔岸主査〕続きまして、中央公民館から報告をお願いします。

〔石川館長〕それでは資料の5ページをお開き願います。

中央公民館所管の主な行事報告・予定のみ説明させていただきたいと思います。

行事報告の欄をご覧くださいいただけます。

7月18日、日曜日、フラワーアレンジメント教室を開催いたしました。講師は、松島町高城でボタニカル・ピープルを運営されている大塚のぞみ先生にお願いをしております。参加人数は14名で、おのおの松島の朝焼けをイメージしたフラワーアレンジメントをテーマに作品作りを行ってまいりました。

行事予定の欄をご覧くださいいただけます。

7月31日から8月9日まででございますが、宮城県図書館が希望する市町村の図書館・図書室に昨年度発行されました児童書200冊を貸出し展示する事業、こちらを今年も要望いたしまして、勤労青少年ホーム図書室で展示をこの期間、予定しております。

続きまして、8月5日木曜日でございます。分館長会議の開催を予定しております。議題といたしましては、移動研修会、また各分館の夏の諸行事、また秋以降の行事の取組等について情報交換を行う予定でございます。

最後に、8月22日の日曜日でございます。陸上自衛隊東北方面音楽隊の松島ふれあいコンサートを開催いたします。コロナ禍での開催であるため、定員数を50%といたしまして、260名定員という形でコロナ対策を取りながら実施する予定となります。ちなみに、本事業のほうは、自衛隊の広報活動の一環でもございまして、出演者には謝礼等が発生しないということから、事業経費が抑えられまして、良質な音楽を楽しめるということで、全国の市町村から開催の要望も多く、毎年の実施が難しいものとなっております。ちなみに前は平成29年度に実施をしたという実績がありました。

中央公民館の行事報告・予定につきましては、以上のとおりでございます。

〔岸主査〕それでは、生涯学習班及び中央公民館等の報告について、ご質問ございますか。

(質疑)

瀬野尾委員

まるごと学はここでも度々話題になって好評なところですが、かつては瑞巖寺の学習をした後に秋田の学校の生徒にガイドをするというような取組もしていたんですけども、なかなか難しい面もあるなというように感じていたんですが、最近は学芸員さんの話を聞いて、その後何か成果をまとめるとか、そういう活動もあるんでしょうか。

土井班長

まず、秋田のにかほ市さんとの交流事業等が行われていたんですが、このコロナ禍ということで、これがなかなか実現が難しいと。また、ちょっと違う事業にはなってしまうんですが、リーダー研修会ということで、中学生を対象とした研修とかも、今年は、にかほ市の中学生が松島に来てやりたかったところではございますが、先方と調整したところ、なかなかコロナ禍でこちらに来るのが難しいということがありまして、そういった秋田県にかほ市との交流についてはなかなか難しいところだなというのがまず第1点目でございます。

それから、その後の活動内容については、学校のほうで振り返り学習とかもそれぞれしていただいて、あと感想なんかもいただいております。それぞれ学校ごとにはなっていますが、子どもたちが吸収できるような形で、振り返りの部分を重点的にやってはいただいているということです。

瀬野尾委員

さらにもう一点、お願いします。

まると学、8月中旬に推進委員会を開くようですけども、ここで話されることは、今後のまると学への計画とかそういうことになるんですか。

土井班長

そちらにつきましては、これまでやった授業の部分をまず再確認などをして、学校単位で若干違ったりするところもありますので、その辺の情報共有をし、さらには2学期にも、まると学の中で、また別な授業が、品井沼干拓の勉強とかもございますので、そういったところの調整とか、あと中学校につきましてはキャリア学習のほうもございますので、そういった部分の調整を行っていく予定としております。

瀬野尾委員

それから、中央公民館関係のほうへ質問させていただきます。

図書読み聞かせ等、児童館とかいろいろなところでされていて、読み聞かせボランティア活動等が盛んになっているなど感ずるんですが、この勤労青少年ホームで、子どもの本の移動展示会があるようですけども、そういうところへの参加の人数等を見たときに町全体として子どもたちの読書への関心をどのように捉えていますか。関心が高いなというように、各学校で1人何冊読んでいますとかそういう調査は出たりするんですが、町全体として、この図書室等の活用ぶり等から、そこら辺はどのようにご覧になっていますか。

石川館長

4月23日に子ども読書の日というものが制定されておりまして、それに合わせてブックラリー事業だったりとかそういうことをやって、子どもの読書活動を推進していく取組を行っているところです。また、図書の購入費、年間50万円ほどあるんですが、児童書を中心に選書をいたしまして児童書の充実を図っているところではございます。ただ、質問のような、どれだけ読書活動が推進されているのか、そこら辺の数値というか、アンケート調査等は実施しておりませんでしたので、ちょっと把握できていないという状況になっております。

瀬野尾委員

分かりました。

もう一つ、蔵書、時々報告あるんですが、改めて聞きますが、あそこの図書室には全体で何冊あるんですか。

石川館長

申し訳ございません。今手元に数字を持ち合わせていなかったんですが、次回の教育委員会の際に蔵書内訳も含めてご報告をさせていただければと思います。（「よろしく願います。以上です」の声あり）

安倍委員

まると学ですけども、子どもたちはそういうすごい歴史のものがある中で当たり前で育ってきているので、そういった特別感というのがないまま育ってきているからこそ、改めて学芸員さんたちに話を伺いながら自分たちで触れていくということはすごく大事なことなんだろうなと思いました。先ほどいろいろ交流事業ができないというのを聞いて、例えば中学校のにかほ市さんとのリーダー研修は生徒会にとったら大きなことでもあるので、何かリモートを使って短い時間でもできないのかなと、やっぱり生徒会って毎年替わってってしまうので、去年はコロナが始まってすぐだったにせよ、今年度、この夏休み、何かできればよかったんじゃないのかなというところをちょっと感じました。例年の何泊というのは、双方それぞれあって難しいでしょうから、ほんの少しずつでも何かしらのつながりが持てればよかったのかなと思います。まると学で感想をいろいろ小学生たちが述べてくれているということですけども、こういう時代で関わりが難しくなっていくというのであれば、例えば小学校同士、もしくは上級生から下級生に向けて何かを発表するとか、その感想プラス何かを自分たちで伝えるのもいいのかなというふうに思いました。町内同士でしたら交流も何とかできるでしょうし、同じものを見たとしても感じる場所ってやっぱり違うと思いますので、今後、少しずつ何か策が見いだせればいいのかと思いました。

中央公民館のほうの行事予定なんですけれども、8月1日の親子工作教室というのは何を作るのかというのと、どのぐらいの参加申込みがあったのかをお願いします。

石川館長

親子工作教室のほうでは、手樽地域交流センターを使いまして、紙粘土のお地藏さん作りというものを予定しております。参加人数なんですけども、親子15組を予定しています。

土井班長

交流の件ですね、先ほど安倍委員がおっしゃるように、中学生にとっては、その一年一年が貴重な機会というのは、こちらでも認識しているところではございます。それで、そういった何かの形で、中止になったからおしまいというのではなく、何かで違った形で交流ができないか、今いろいろ青少年健全育成会議の中でもそういった話も出ていまして、先ほどお話のあったリモートでの交流とか、今後何かできないか検討していきたいと思っております。

あと、小学校関連の交流とか同じ学校内での低学年の部分へというのも、今年はちょっと実現が難しいかもしれませんが、会議の中で議論を重ねていければいいかなと思っております。以上でございます。（「ありがとうございます」の声あり）

(2) 教育長報告

〔岸主査〕それでは続きまして、(2) 教育長報告について、内海教育長からお願いします。

〔内海教育長〕では、私のほうから、8ページをご覧ください。

もう既に話題になっていました殺人事件の件で、子どもたちに対する安全・安心の確保で、頑張っている姿が紹介されております。河北新報の記事ですが、概ね対応の仕方についてはよかったなと思っております。子どもたちも無事に夏休みを迎えられたと。そして夏休み中も安全に暮らしていることは、やっぱり地域の方々のおかげだろうなと。それについての指摘は晴子先生のほうからお話ありましたが、各学校、ホームページ、あるいは学校だよりを地域の区長さんに校長自ら配っているという地味な活動が功を奏しているのではないかなと感じております。

9ページをご覧ください。

町内校長会でお話したことをかいつまんでお話しさせていただきます。

1つは、組織はリーダーの力量以上に伸びないということで、リーダーの力量次第では、その組織が活性化するかしないか大きく左右されるということで、校長先生方にお示しをしました。それは私にも言えることで、教育委員会が活性化しないのは私の責任でもあるなと思いながらも、努力していきたいと思っております。

それから、授業にこだわるということは、校長先生方も十分に認識しております。そして、授業の成果は、子どもに聞いてほしいということを再三申し上げております。誰かに聞くのではなくて、子どもが分かったか、分かんないか、話がよく伝わったかどうかというのを授業評価で先生方が確認してくださいということで、随分授業の中に授業評価を取り入れられるようになってきたなと思います。

それから、子どもの伸びは教師の力量に比例するというので、高橋尚子選手、北島康介選手の例を出して、それには優れた指導者がいますよと。やっぱり学級の伸びも優れた指導者によって左右されますよと。耳の痛い話でしょうが、これ無視できませんよということを伝えておきました。

あと、(3) の令和3年義務教育課の全体像として、義務教育が掲げたスローガンが「魅力ある行きたくなる学校づくりの推進」ということで、それほど魅力ある学校が少ないからこういうスローガンを出したのか、もっともっと魅力ある学校になるように頑張らましようねという意味で出したのか分かりませんが、魅力のない学校ってどういう学校だろうと。例えば、行事が面白くない、授業が面白くない、先生がえこひいきをする、そういうような学校であったとするならば、すぐさま改善する必要があるんじゃないでしょうかと投げかけました。これが校長会の骨子です。

次のページ、10ページをご覧ください。

8月の初旬あたりに教育課程特例校という申請が参ります。それに向けて松島町でも英語の特区を取ろうと思っております。これについては、各校長会の校長先生と十分検討しましたし、町長にもお話しさせていただきました。名称を子ども英語観光科というような形で、英語に特化して授業を進めていく形にしようと考え、これは分かりやすいように年間指導計画、6年生の一番内容が固まったものを資料としています。

これまで2年間英語をやってきて、ある程度英語はそれなりに力をつけていたというのが一つと、それからもう一つは、松島の売りである松島子ども英語ガイドが今年もちゃんと生きて、さらにパワーアップしているという、これが2つ目。3つ目は、まるごと学をやっている学習材が瑞巖寺などいっぱいある。それにおもてなし英語をくっつけてしまえば、これは松島の売りとしては非常にいいんじゃないかと。

学力の問題が問われる場合があると思うんですが、英語の教育課程の時数は全く変えないで、その上にこれまでの英語の実績、ガイド、まるごと学を乗っけてさらにパワーアップした形で申請を出すということになります。ですから、従来の英語からそんなことを外に向けてやっていると落ちるのではないかという考え方は全く当たらないのではないかなと思います。こんな形で、8月の頭に申請書が来ると思うので、それに向けてうちもトライしてみたいと思います。これは教育課程を大きく変えるという意味で、何かの条例とかに触れるというものではありませんので、教育委員さんにもお知らせして進めたいと思っております。

以上です。

〔岸主査〕ありがとうございました。それでは、教育長からの報告についてご質問があれば受けたいと思います。

(質疑)

瀬野尾委員

前向きないろいろな取組をしているということは、やはり一つ松島の勢いを発信しているとい

うことで、プラスの見方ができるかなと思います。それから、「魅力ある行きたくなる学校づくり」と、この行きたくなる学校づくりは、私が思いますのは、やっぱり不登校の子どもたちが全国的に多いというそのあたりのところで、行きたくなる学校をどうにか工夫してほしいという願いからこういう言葉が出ているんだろうなと思ひまして、じゃその行きたくなる学校であるかどうかの評価はどこで見るとかという、全部がそうとは言えませんが、不登校の数とか、不登校予備軍のようなお子さんの数とか、そういうところでやはり判断して自分たちの学校の在り方を考えていかなきゃならないだろうなというように私は捉えております。ですから、校長会のときに、校長先生方にぜひ自分の学校の姿を再度チェックしてほしいという教育長先生のお話は、本当にそのとおりであると思ひますので、ぜひ進めていただきたいと思ひます。

ただ、この事業の成果を子どもに聞くという、ここも、子どもに聞く聞き方がいろいろあると思うんです。今日の授業分かりましたかとか、分からなかったかとか、短時間で丸をつけるというのも、それもある一面ではいいんですが、私は、教師はプロなんですから、今日の自分はここを、こういうことを子どもに分かってほしいとか、またはできるようにさせたいという目標がどのくらい達成されたかは、教師がやはりそれを受け止めて自分で分析する必要があると思ひます。教師の自己評価力といいますか、学力テストにしても、こういう傾向がある原因は何かというのを常に追求していかなければ、授業の内容は変わっていかないだろうなというように考えます。そこら辺がちよっとどうかなというように受け止めました。

さらに、英語は、松島の売りとしてずっと長年観光課のほうでもやってきたことを、意欲のある子どもさんたちをやっぱりこういう場でワンランクアップした形で挑戦させるという取組はとてもいいことですので、ただ、特区にするのも、特区に反対とかではないんですが、今の子どもたちの英語の学力といいますか、例えば中3で英検準2級を目標に、英検3級を、それが全てじゃないんですが、今のところそれを基準に考えれば、何人合格しているんですかね。中学校で英検3級、この間合格した人数は何人いるんでしょうか。これは質問です。

大宮司班長
瀬野尾委員

今手元に資料を持っていないので、次回ご報告させていただきます。

継続してお話ししますが、意欲は意欲として評価しながら、子どもたちの実態、英語教育、英語活動じゃないですよ、教育がどういふようになると目指す姿かなという、そのあたりを松島としてもう少し明確に出していけば、そこを踏んだ段階的なものももっと見えてくるかなと思ひます。感想ですけれども、以上です。

安倍委員

9ページの「魅力ある行きたくなる学校づくり」ということで、みんなが学校に来ているからそこは魅力ある学校かと言われると、もちろんそうではないし、小学校、中学校は行かなくちゃいけないところだから行っている子もいるだろうし、親としての義務で行かせなくちゃいけないというところもあるだろうし、行きたいなというよりは行かなくちゃいけないという思いのほうが強いかなと思ひます。けれども、実際、来ている子たちでも、友達とうまくいかなかったり、先生との相性だったり、心に爆弾を抱えながら頑張って、誰にも言えなくて行っている子もいるかもしれないし、親御さんだっどここに相談していいか分からないって抱えている人もいると思うので、そういう方面にもしっかり先生方が目を向けてくれる学校だといひなと思ひます。それと同時に、その先生たち同士でも、思いやりというか、この先生大丈夫かなと、横のつながりも大事にしなが、先生が潰れないようにという部分をぜひ願ひます。

瀬野尾委員

先ほどの事件の話があったじゃないですか。やっぱり学校として何かすることがあったんじゃないのかなという、そういう振り返りをしていかななくちゃいけないかなとちよっと思ひました。あまりそういう危機感ってあまりないでしょうかね。今まだ発生して、2学期になってから出てくるかもしれないけれども、学校評価というのは、そういうことも含めて見ていかななくちゃいけないかなと思ひますね。

安倍委員

こういう事件というのは、どこか遠いところで起きているような感覚だったり、テレビの中の世界だったりと思ひたものが、規制線が張られ、ばたばたヘリコプターが飛び町民の方みんなが不安な状態だったんですけれども、犯人が分かって、捕まったからよかったですでは終われないような、その人にも家族がいるんだよねとか、うまく言えないんですけれども、捕まって終わりではどうなのかなというところを私も感じています。

5. 協議事項

(1) 令和3年8月定例会について

日程案：令和3年8月27日（金）午前9時00分 松島町役場3階 301会議室

〔岸主査〕ありがとうございました。続きまして、協議事項に移ります。（1）令和3年8月定例会について、8月27日金曜日、午前9時00分から役場会議室で予定しております。令和2年度決算認定の議案審議がありますので、1時間早い開会となりますが、この日程でよろしいでしょうか。

よろしく願いいたします。

以上で本日の審議は終了となります。最後に、全体を通してご質問等ございますか。

安倍委員 二小さんの学校行事の中で、「いじめ防止動画コンクール」とあったんですけども、これ、2年ぐらい連続で夏に県庁のほうで、いじめフォーラムというか、小学校だったり、今年は中学校だったりというものを対象にして参加させてもらっていたんですけども、そのときに動画が流れていたんですね、授賞式があって。その動画というか、そのコンクールに応募したというのなんですか。だとすると、やっぱりそういう取組っていいなと思いました。あと五小さんの学校だより、修学旅行に行ったというこういう写真やコメントつきの絵とか、裏にはやはり校長先生が音楽の先生だったということもあるんでしょうが、こういうふうには音楽で子どもたちに触れ合っていて、このコロナでもいろいろ考えてくださっているんだなというのを、これを見て、読ませていただいて、あったかい気持ちになりました。

内海教育長 いじめの動画については、30秒以内で動画を作るということでしたかね。それで、五小と二小と、それから松中が作って、審査にかけるような形になります。いつもだと11月頃審査ということになるんですが、今年はコロナということがあって、どんなような形で審査するのかよく分からないんですが、作りながら子どもたちのいじめに対する予防を図るといような形で、作品として作り上げたということだそうです。

8. 閉会

〔岸主査〕それでは、松島町教育委員会会議令和3年7月定例会を閉会いたします。

閉会の挨拶を瀬野尾教育長職務代理者よりお願いします。

〔瀬野尾委員〕外は非常に暑いような感じですけども、これから8月で一番暑い盛りかと思えます。いろいろと学校、1学期の頑張ったところとか、2学期へ課題を残しているものとか、それぞれあると思えます。学校も、きっとそういうあたりで休みを有効に使っていると思いますが、私たち教育委員としましては、頑張っているところは認めながら、やっぱり考えていったほうがいいことはしっかり伝えていくことが誠意のある役割の果たしかただと思えます。これからも、松島の教育をよりよいものにしていくため努めたいと思えます。今日はお疲れさまでした。

この会議録の作成者は、次のとおりである。

教育課学校教育班 主査 岸 淳一

上記会議録が正確であることを認め、ここに署名する。

令和3年8月27日

委 員

委 員